

第 6 回 志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本計画策定検討委員会
【議事概要】

【開催日時】

令和 3 年 6 月 1 4 日（月） 1 8 : 3 0 ~ 1 9 : 3 0

【開催場所】

市民会館 203~205 会議室

【配布資料】

- 次第
- 第 5 回議事概要
- 志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本計画（素案）

【議事概要】

（1）第 5 回議事概要について

○主な意見

- ・二つの施設を複合化することとなるので、駐車場が少なすぎるのではないかと。民間の駐車場を活用するという話もあるが、可能なのか。
- ・駐車場が足りない時は、市役所の駐車場を案内していたので、新規施設についても同様と考える。なお、市役所からのシャトルバス運行は、主催者側で実施することが基本であると考えている。
- ・容積率の制限もあることから、駐車台数の確保には限界があることを理解いただき、可能な範囲で確保していくことで了承いただきたい。
- ・周辺の交通渋滞については、パルシティ通り側に入り口を設けることで、学校側への影響を少なくしたいと考えている。

（2）基本計画（素案）について

○主な意見

- ・時代に即した機能として、動画などを撮影し配信できるような機能を盛り込むべきではないか。
- ・Wi-Fi 環境や回線などの充実などを図るべきである。
- ・小さな市だからこそ、広く世界に発信することや、次世代のための施設とすること、それらによって新たな交流を生み出すことを目指すべきである。
- ・平均点を目指すのではなく、志木市独自の特徴を押し出していくべきではないか。
- ・この場に来られない人も楽しめるように、催し物の内容など、お茶の間への発信もできたらよい。
- ・交流機能について、休日の賑わいは当然ものとして、あえてではあるが、平日における新たな出会い・交流といったキーワードを盛り込んではどうか。

- ・使いやすい施設は他にもあるので、方向性としてニッチな方向に進めてみてはどうか。また、ICT を活用して、スマホで気軽に施設予約ができたり、施設内で現在行われている取り組みを発信して、興味を持って参加してもらうことなども考えられる。
- ・文化的な催しと体育的な催しが重なった場合、お互い雰囲気を阻害しないような配慮が必要ではないか。例えば、観劇の余韻に浸っているときに、横でスポーツ大会等のテンションで騒がれたりすると、台無しとなってしまう。複合化によって、市民会館・体育館それぞれの役割が損なわれないような配慮が必要ではないか。
- ・ホールの座席を可動式にするとのことであるが、そのことによって、ホールとしての機能が損なわれたり、居心地の悪い空間とならないように留意する必要がある。
- ・ホールの座席は、現状よりはゆったりと座れるよう、広めの間隔とすることがよい。
- ・ホールの座席を収納式とすることで、様々な用途に対応できるようにし、市民を主眼とした施設とすべきである。
- ・多目的な施設とするが、ホール・体育館・展示など、それぞれ必要な機能を犠牲にしないように配慮すべきである。
- ・例えば、「市民にとって身近な、普段使いのホールとする」、「稼働率の高い施設を目指す」など、キーワードとして入れ込んではどうか。
- ・楽屋の必要規模としては、男女別で、1室15～20名で4室程度が必要と思われる。
- ・トレーニングルームは、基本計画に記載の内容で問題ない。
- ・市内全域から誰もが来られるような交通手段の検討もお願いしたい。
- ・基本理念については、本日うかがった意見等を踏まえ、事務局側で改めて検討し、次回検討委員会でお示しする。

～以上～